

令和2年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 令和3年3月16日(火) 10:00~12:00
兵庫県民会館 「303会議室」
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
- 2 出席者
(委員11名) 山口委員 平野委員 倉委員 吉矢委員
鵜木委員 恒木委員 小林委員 増田委員
陳委員 榎並委員 石角委員
- 欠席：長ヶ原委員 尾山委員 升川委員 村崎委員
- (幹事10名) ○小倉幹事 ○竹谷幹事 ○中井幹事 中野幹事
村田幹事 ○小俵幹事 西田幹事 前川幹事
山根幹事 田中幹事
- 欠席：藤原幹事 吉田幹事
- 北中スポーツ振興課参事(陪席)
榊スポーツ振興課参事(陪席)
藤原兵庫県体育協会事務局長(陪席)
(○印は代理出席)
- (教育委員会) 西上教育長
- (事務局) 岡本副課長 本多主任指導主事兼主幹
財田主任指導主事 加藤指導主事
- 3 開会あいさつ 西上教育長
- 4 委員・幹事紹介
- 5 署名委員の指名 署名委員は、倉委員、鵜木委員に決定
- 6 前回議事録の報告
令和2年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会の報告事項(令和2年度の事業概要について、「兵庫県スポーツ推進計画」進捗状況と「第2期兵庫県スポーツ推進計画[仮称]について)の議事録について事務局より説明し、承認を受けた。

7 審 議 事 項

「令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について

令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金の内容について事務局より説明し、承認を受けた。また、「ひょうご女性スポーツの会」について、情報共有を行った。

8 報 告 事 項

(1) 令和3年の事業概要について

- ① スポーツ振興課に関する事業概要について、スポーツ振興課長が報告した。
- ② WMG2021 関西に関する事業概要について、スポーツ振興課 榊参事が報告した。
- ③ 神戸マラソンに関する事業概要について、スポーツ振興課 北中参事が報告した。
- ④ 体育保健課に関する事業概要について、体育保健課 織邊副課長が報告した。
- ⑤ ユニバーサル推進課に関する事業概要について、ユニバーサル推進課 越智班長が報告した。

(2) 兵庫県「県民スポーツ意識調査」について

事務局より、兵庫県「県民スポーツ意識調査」について、調査方法や質問項目及び選択肢について説明した。その後、各委員から意見を求めた。

■ 委員の主な意見及び事務局の説明

審議事項

<「令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について>

【平野委員】

- 「ひょうご女性スポーツの会」の研修会で託児所の設置等、子どもを預ける人件費も補助の対象となるか。

【スポーツ振興課】

- できる限り多くの方に参加してもらいたいので、託児所設置等については補助対象としている。

【鷗木委員】

- 成果をどのように図っていくのか。どのような方向に進んで行くのか。皆さんと共有しながら、事業を進めていくことが大事。

【倉委員】

- 女性スポーツ人口の増加を図るなら、今後はこれからスポーツをしたい人、育児中の人等、若い世代に繋げていく方策が必要ではないか。

【石角委員】

- 大会入賞選手に「ひょうご女性スポーツの会」からの賞状を渡した。非常に喜んでいた。今後は、今回参加できなかった小学生を含む、全世代に賞状を渡し、勝敗を競う柔道だけでなく、運営面等でも一生携わることができることを小学生たちにアピールしていきたい。

【山口会長】

- 女性スポーツのすそ野を広げる「ネクスト・ジェネレーション」、次世代を育てることは非常に重要。是非継続してもらいたい。

【小林委員】

- 競技力を高めるため、体重コントロールをすることで生理が止まり、骨密度が減り、疲労骨折を発症するなど、女性特有の「障害」を懸念している。選手や指導者対象に研修を開催してはどうか。

報告事項

<ゴールデン・スポーツイヤーズ等のレガシーについて>

【陳委員】

- 「海づくり大会」と「スポーツ」どういう関係があるのか。
大蔵海岸のビーチスポーツと関係しているわけではないのか。

【スポーツ振興課】

- 今現在、何をするのか決まっていない。令和3年度検討していく。

<神戸マラソンについて>

【山口会長】

- 東京マラソンは、今年延期して秋に実施される。3万5千人の規模で行うので一度調査をしてはどうか？

<選手強化事業について>

【鶴木委員】

- コロナ禍で得たオンライン指導等、新しい取組みを支援する事業は無いのか？

【県体協】

- 選抜高校野球で話題になった、動画配信での指導を参考にしながら現在協議している。

【山口会長】

- 今後もウィズコロナが続くので、リアルとバーチャルを融合した指導や開催方法等、いろいろ工夫が必要。また、ITにも強くなっていかないといけない。

【小林委員】

- リモートは、海外で練習している選手も参加できるというメリットもある。コロナ禍で指導方法が変わってきている。その部分を推し進めて欲しい。

<事業開催方法について>

【山口会長】

- 全豪オープンでは、室内施設での観戦はマスク着用を義務化し、屋根が開けばマスクは任意としたが、クラスターは発生しなかった。いろいろ運営方法があるので情報を集めることが重要。

【小林委員】

- 大会等中止にするのは簡単。神戸マラソンもしかり、今できる環境で、打開しポジティブに進めて欲しい。

<事前合宿について>

【山口会長】

- 中止というのは簡単。「どうしたらできるのか」という発想が重要である。現在受け入れている国と受入れ先の情報が知りたい。

【スポーツ振興課】

- 先日フランスとネット会議を開き、具体的な内容まで打ち合わせた。現在実施の方向で進めている。また、交流事業を辞退する国、自治体が出てくるかもしれないが、予定どおり進めている。

【山口会長】

- 合宿誘致は、相手国との密なコミュニケーションが重要である。交流事業で地元の地域住民、子どもたちと直接コミュニケーションをとることができない場合は、オンラインで実施してはどうか。その際にどのようなオンラインをするのか、情報を集める必要がある。

<食育の推進について>

【平野委員】

- 食育の推進の中にSDGs、持続可能開発目標の観点を取入れた推進計画を立ててもらいたい。食材や地産地消等いろいろな観点が入る。ポストコロナに向けて、給食現場の調査や子どもたちのメンタルに関する調査をしてはどうか。

【体育保健課】

- 令和3年度高等学校でどのような食育を推進していくのか専門家会議で検討していく。その中でご意見を参考とし進めていく。調査については、現在給食は「学校の新しい生活様式のマニュアル」に基づき実施している。しかし、各現場の意見も聞きながら感染拡大防止に努めていきたいので、意見を参考にさせてもらいたい。

<オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業について>

【増田委員】

- 教育推進校15校のうちパラリンピックの選手は、どのくらい派遣しているのか。兵庫県内には約100名程度の国際大会参加選手がいるので今後活用してもらいたい。

【体育保健課】

- パラリンピック選手を教育推進校15校の8割程度派遣している実績がある。国際大会参加選手のデータについては、今後参考にしていく。

<部活動指導員配置事業について>

【吉矢委員】

- 外部指導者に対し安全面や事故予防に関する情報提供や研修をしていただきたい。また、システムを構築しながら事業を進めてもらいたい。

<「体カアップひょうご」サポート事業の実施について>

【鵜木委員】

- 本県の子どもの体力は、どのように評価されているのか。体力向上が期待できる8市町の「期待できる」というのは、どういうことなのか？

【体育保健課】

- 全国的に目標値の昭和60年ころより、総合的に低い状況であるが、近年は横ばいの状況である。本県においても同様の傾向である。「期待できる」とは、体力測定の数値が低い学校である。この事業は、数値が低い学校に、手立てをしていく施策である。

<中学校運動部活動の地域移行検討事業について>

【石角委員】

- 神戸市は「拠点校」が進んでいる。柔道では5校程度ある。次年度県で拠点校になる播磨町・西宮市二つの地域にも神戸市のように進めてもらいたい。郡部において、指導者がいなくて部活が減ってきていると聞いている。なかなか目が行き届かない地域においても前に進めてもらいたい。

【体育保健課】

- 学校の教育活動としての部活と学校から外しての部活動、これを両輪で進めていく中で、完全に地域に移行できるものなのか、我々は研究していこうと思っている。

<兵庫県「県民スポーツ意識調査」について>

【石角委員】

- Q36「女性スポーツの普及について」男性も記入するならば、選択肢に「その他」をいれれば、この選択肢以外の何かが出てくるのではないかな。

【スポーツ振興課】

- 検討する。

【平野委員】

- 回答者属性で「産休中である」とか、分かるようになっているのか？分析を掛けたときに、丁寧なソートをかけられるようになっていることを希望する。

【スポーツ振興課】

- 業者によってモニターの登録情報は違う。検討する。

<全体を通じて>

【恒木委員】

- スポーツをしている人口が減ってきている。「スポーツクラブ 21 ひょうご」の会議でもその対策の意見は出てこない。アスリートばかり目を向けるのではなく、スポーツの底辺を支える地域スポーツ「いつでも・どこでも・誰でも」がスポーツを楽しむことができる事業のボリュームアップを図っていかないといけない時期ではないか。

【山口会長】

- 現行の兵庫県スポーツ推進計画が、令和4年3月で終了する。来年度新しい推進計画を策定する。スポーツクラブ 21 ひょうごの会員数の減少や市町スポーツ大会等参加者数の減少について、検討する。

8 閉会あいさつ 田中スポーツ振興課長

9 閉 会